

令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」第一中学校区実践計画書

事務局 第一中学校（担当職・氏名：教頭・横濱由紀）

1 主題（9年次）

『学ぶ意欲を高め、自ら考える力を育てるための小・中連携のあり方』
～「話す」・「聞く」指導を通して～

2 主題設定の理由

平成23年度からは、これまでの成果をもとにして「学ぶ意欲を育て、自ら考える力を高めるための小・中連携」を目指して研修していきたいと考えた。「学ぶ意欲」とは「わかった・できた」という授業から生まれると考えるが、それを引き出す手立てとして、「話す」こと「聞く」ことを重点的に指導していくことが有効と考えた。各校さまざまな実態があるものの、「話す」こと「聞く」ことの指導を継続することで一定の成果が期待できる。また、このことについて小・中学校で共通した項目で授業に取り組む事項（三校共通重点事項）を決め、実践することで、最終的には学ぶ意欲の育成につながり、自ら考える力も高まると考える。

そこで、三校共通重点項目について、それぞれの発達段階に応じた指導の手立てはどうあればよいかを研究していきたいと考え、主題を設定した。

小中連携を通してめざす児童生徒像及び教職員像

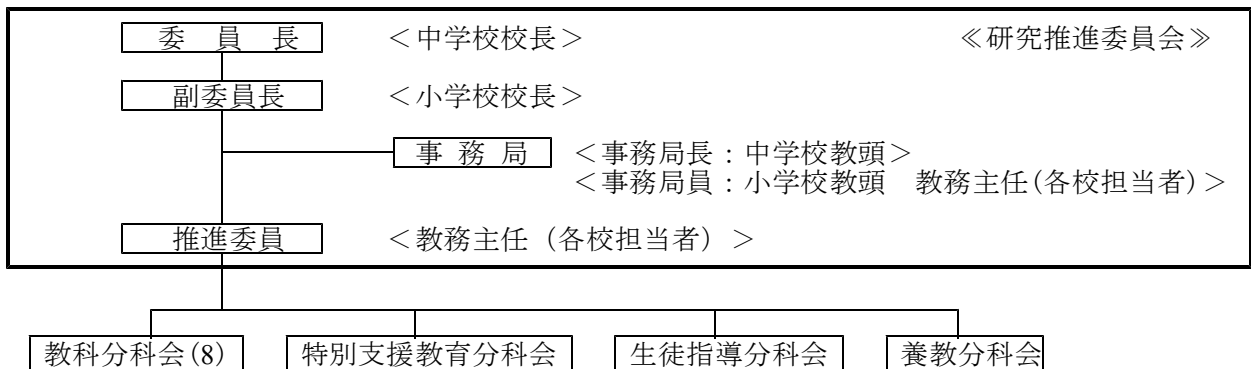
(1) めざす児童生徒像

- ①授業が始まる前に、学習の準備をすることができる。(用具、宿題)
- ②名前を呼ばれたら、きちんと返事をするすることができる。
- ③**教師や仲間に、自分の意思をしっかりと伝えることができる。……………三校共通重点事項**
- ④その場にあった正しい姿勢で学習や生活ができる。
- ⑤**授業で、教師や仲間の話をしっかりと聞きとることができる。……………三校共通重点事項**

(2) めざす教職員像

- ①授業開始の時刻や授業終了の時刻を守って授業を行う。
- ②児童生徒の名前を「君・さん」をつけて呼ぶ。
- ③**授業で、自分の意見を持たせ発表する場面を保障する。……………三校共通重点事項**
- ④その場にあった正しい姿勢が身に付くまで繰り返し指導する。
- ⑤**発表のしかたや話の聞き方などを丁寧に指導する。……………三校共通重点事項**

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

第一中学校区 重点指導項目

(1) 話すことについて

- <小学校全学年共通>○相手にわかるように、自分の思いや考えを伝える場の設定。
- <中学校全学年共通>○教師や仲間に、根拠を明らかにして、自分の意思を伝える場の設定。

(2) 聞くことについて

- <小学校全学年共通>○相手を見て話をしっかりと聞くことの指導。
- <中学校全学年共通>○姿勢を正して話の内容を理解するように聞くことの指導。